

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
345	総合的な探究の時間「未来伊豆探究」	1	3	総合学科	必修

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標
卒業レポート作成などの探究的な学習をとおして、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、地域に貢献できる可能性を見だし、自己の生き方や在り方について考えることができるようにする。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	課題の発見と解決に必要な知識を身に付け、探究の意義や価値を理解している。また、情報収集や知識の習得に関わる技能を身に付け、適切にまとめることができる。
② 思考・判断・表現	実社会と自己との関りから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を整理・分析してまとめ、表現している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協動的に取り組む、よりよい社会を実現しようとしている。
評価の方法	
各単元でのワークシートへの取組状況、成果物の内容、グループワークへの参加態度、発表の表現、技能を総合的に判断し、評価する。 ※数値による評価は行わない。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	学習計画と学ぶ意義	1年間の学習計画と学ぶ意義を理解し、よりよい社会づくりに主体的に関わろうとする。			○
5	卒業レポート作成	テーマ設定	自分自身の興味関心のあるテーマを決めることができる。		○	
6		調べ学習	クロームブックや本等を用いて、関心のあるテーマの課題について主体的に取り組むことができる。			○
7		中間発表	調べた内容についてわかりやすく発表し、表現している。		○	
8		フィールドワーク				
9		テーマの再設定	中間発表のフィードバックを受け、テーマの再設定・確認を行う中で課題についての理解を深めることができる。		○	
		課題解決のアクション	課題解決に向けた、活動を主体的に行うことができる。			○
10		プレゼン作成	スライドショーを工夫して作成し、他者に伝わりやすいものを作ろうとしている。	○		
11		クラス発表会	調べた内容についてわかりやすく発表し、表現している。		○	
12		学年発表会	他者の発表に傾聴する姿勢を持ち、視野を広げ意欲的に取り組んでいる。			○
		レポート作成	発表したものをレポート1枚にまとめることができる。	○		
1		レポート発表会	作成したレポートをわかりやすく他者に伝えることができる。		○	
	年間反省	学習の成果を振り返る	「未来伊豆探究」の学習の成果を振り返り、学習活動を意欲的に取り組んでいる。			○
2	学習発表会		他者の発表に傾聴する姿勢を持ち、視野を広げ意欲的に取り組んでいる。		○	
3						